

サッカー審判員各位

麻生区ジュニアサッカー連盟審判部

文責 田中

レフェリングガイドライン

小学生サッカーの審判における、試合前の手続き・レフェリングのポイントをまとめました。ぜひ試合前に一通りご確認ください、自信を持ってレフェリングに臨んでください。

未来ある子どもたちが、サッカーに最大限集中できる環境を用意していきましょう！

○レギュレーション

メンバーチェック時間、集合時間、試合時間（○分ハーフ、ハーフタイム）、引分時

○メンバー・用具チェック

背中を向けて並ばせる、メンバー表の番号を読み上げて名前を言わせる、装備品の確認

○コイントス

勝った方が最初のキックオフか前半に攻める方向を決める。

○レフェリーミーティング

役割分担) スローイン (手足)、オフサイド (気づかない時)、PA 内のファウル、得点

※基本はアイコンタクトの徹底！すべてのジャッジで相互確認

○笛

フューではなく「トゥーー！」自身が感じているより音は小さいので思い切り吹く！

○レフェリーフラッグ

フラッグは手の延長、一直線になることを意識。常にフィールド内にあるよう持ち替える。

○スローイン

両足が着いている。両手でボールを頭の後方から頭上を通して投げている。

○ゴールキック

蹴られて明らかに動いたときにインプレー。相手競技者は PA の外にいる。

○得点

ゴールラインを完全に超えたかどうか。副審のスプリントが重要！

○負傷

手順) 重症か軽傷かの判断。軽傷ならアウトオブプレーまで続ける。復帰が不可能であれば、主審がチーム役員を入れてフィールドの外へ退出させる (役員入れたら必ず退出)

○オフサイド

成立の判断は焦らず一呼吸おいて。選手がボールに触れない可能性を常に考える。

ゴールが決まったがオフサイドの可能性がある場合は、ゴールラインで主審を呼ぶ。

○ファウル

「起こりそうだな・・・ほらやった！」と起こることを想定し、タイミングを逃さず吹く。

ハンドの反則) 直接得点する、触れた直後にゴールする、不自然に身体を大きくする

○ペナルティキック

FP はペナルティマークの後方(忘れがち)ゴールキーパーはボールが動くまでライン上。

○決定的な得点の機会の阻止 (DOGSO)

ゴールキーパーと 1 対 1 になっている状況下では DOGSO に該当する可能性が高い！